

## 石狩八幡小学校開校準備委員会 第10回会議【質疑要旨】

- ・日時 令和元年 5月24日(金) 18:30～19:33
- ・会場 八幡コミュニティセンター 会議室

### ・出席者

#### 委員

##### 〔保護者〕

- |       |             |
|-------|-------------|
| 佐藤 百恵 | 石狩小学校PTA副会長 |
| 工藤 隆司 | 八幡小学校PTA会長  |
| 富木 智之 | 石狩中学校PTA会長  |
| 熊倉 可菜 | くるみ保育園父母の会  |
| 玉井 九美 | 聚富保育園父母の会   |

##### 〔学校関係者〕

- |       |               |
|-------|---------------|
| 吉田 光岐 | 石狩小学校校長       |
| 三島 哲  | 八幡小学校校長       |
| 坂田 育子 | 石狩中学校校長〔副委員長〕 |

##### 〔学識経験者〕

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 戎屋 健一 | 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター〔委員長〕 |
|-------|----------------------------|

##### 〔学校支援推進員〕

- |      |              |
|------|--------------|
| 中井 元 | 石狩小学校学校支援推進員 |
| 菊地 功 | 八幡小学校学校支援推進員 |

##### 〔町内会代表者〕

- |      |          |
|------|----------|
| 牧野 勉 | むつみ町内会会長 |
| 藤田 修 | 虹が原町内会会長 |

### ※教育課程部会

- 真野 智美(石狩小教頭)、東峰 宏紀(八幡小教頭)、杉原 大樹(聚富小教頭)

#### 〔教育委員会事務局〕

- 佐々木生涯学習部長  
佐藤教育指導担当次長  
東社会教育担当次長(兼市民図書館長)  
安崎総務企画課長  
佐々木学校教育課長  
伊藤社会教育課長  
松永総務企画課主幹  
古屋総務企画課主査

※出席 13名

欠席 2名

(鈴木諭美江 委員：聚富小中学校PTA監査)

(青山 司 委員：聚富小中学校長)

※傍聴者なし

● 委員長あいさつ

本年3/26に逝去された、故 朝倉 勲 委員（前 虹が原町内会会長）への黙祷を行った。

● 新委員の紹介

事務局より、新年度における各学校や保育園のPTA、父母の会の役員改選、教職員の人事異動に伴う委員の変更について報告した。

- ・工藤隆司 委員 → 所属団体・機関・役職等について、「聚富保育園父母の会」から「八幡小学校PTA会長」に変更。
- ・玉井九美 委員 → 「聚富保育園父母の会」の代表として新たに委嘱。
- ・坂田育子 委員 → 石狩中学校校長着任により新たに委嘱。
- ・藤田 修 委員 → 虹が原町内会会長着任により新たに委嘱。

引き続き、事務局より4月の市人事異動等により、本会議から新たに参加する委員として、東社会教育担当次長、山田指導担当参事（会議は欠席）、伊藤社会教育課長を紹介した。

● 校歌の制作について

事務局案として、「作詞・作曲の人選について、この地域に縁があり、音楽や芸術、創作活動の経験、経歴のある教育関係者等に依頼する。」ことを提示した。

作詞の依頼者として、田岡克介 氏（石狩市長、旧石狩東小学校第7回卒業生・同窓会幹事）、作曲の依頼者として、台坂香織 氏（石狩小学校教諭、江別第一小学校の校歌作曲：平成28年開校）を提案し、出席委員全員の承認（満場一致）を得て決定した。

● 教育課程部会からの報告〔吉田委員：石狩小学校校長より〕

・4/24に教育課程部会（石狩小と八幡小の教職員参加による全体会・分科会）を開催した。「教務部会」では、日課表や年間行事予定、修学旅行等の旅行的行事、ふるさと教育を進めるための総合的な学習の整備、備品・教材教具関係について、「指導部会」では、児童会活動、運動会や学芸会、遠足・水泳・スキー学習等について協議し、活動計画や役割分担の確認を行った。

・来年閉校するまでの間、石狩小・八幡小・聚富小の児童が相互交流できるよう、児童集会・あい風コンサート・5年生合同宿泊学習などの行事の開催、それ以外にもお互いの学校の様子がわかるような動画を制作して校内放送で流したり、図工作品の交換展示を行ったりする。また新1年生対象の就学時教室を11月に、一日体験入学を2月に八幡小で行うこととした。

・年度内に教育課程部会をあと6回行う予定。

・学校経営方針案として、「期待と信頼」を受けて、「創造と協働」をキーワードに新しい学校づくりを進めていくことを柱としたい。新学習指導要領への完全移行、実施を控えた中での学校統合となるが、学校づくりにあたっては、子どもたちの学力や体力、地域の実情など実態把握を含め、基礎づくりに2年、教育課程の本格化は3年目以降になるものと考えており、新学習指導要領に合わせた文言整理や、学校経営の重点等については関係校の校長で今後検討していく。

- 開校までのスケジュールについて
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について

事務局（松永総務企画課主幹）より、資料に基づき説明した。

#### [開校までのスケジュール]

- ・今年度の開校準備委員会（会議）を、本日のほか、7月、9月、10月下旬、12月、開校前の3月の計6回開催することを予定している。
- ・関係校の閉校記念事業（式典等）は、11/17 八幡小学校、11/30 石狩小学校でそれぞれ開催され、各校では閉校記念誌の制作や、当日の式典・お別れの会などのプログラムの企画準備が進められている。
- ・事務局では、11～12月に「保護者（地域）説明会」を開催し、例えばスクールバスの運行計画や新しい学校でどんな教育活動が行われるのかといった、教育課程や年間計画案などの概要をお示しできるようにしたいと考えている。特に、スクールバスについては、第3回会議（平成29年11月）で、石狩小校区の児童の乗降場所や運行経路について、その時点での案を示しているが、その後に入学者の児童、転居した児童の動きがあったことや、聚富小中学校の児童生徒の通学先を考慮して、昨年11月に実施した第1回通学先意向調査と、年内にもう一回行う同調査の結果を反映できるように、これから秋までに来年4月開校時の運行計画案を定めていく。
- ・先週、市長と市議会議員選挙があり、新しい体制による市議会が7月中に行われる予定となっており、開校準備に係る予算審議と、夏休み中には八幡小の体育館の床の改修を行うことを皮切りに、施設改修を進めていくこととしている。

#### [コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）]

- ・現在、石狩管内では石狩市を除いた全ての市町村で、必ず1校以上は導入されており、江別・当別・新篠津では全小中学校で、千歳・恵庭・北広島市についてもそれぞれ数校が導入されている。石狩市は、この石狩八幡小学校と厚田学園の、来年新たに開校する2校で、市内で先行して導入した後、再来年の2021（令和3）年度には、その他の全校で導入することとしている。
- ・事務局では、「どのようにコミュニティ・スクールの機運を高めていくか、多くの方に理解をしていただくか」が、とても大きなテーマ、課題であると受け止めている。この準備委員会においても、今日だけではなく、今後も引き続き、制度の理解や具体的な協議をさせていただきながら、石狩八幡小学校がより地域に愛され、地域の宝である子ども達が普段生活し、活動する「学校」を、地域がどのように支援し、応援していこうかといったようなことをテーマに、少しずつ具体的な取組が展開できるような下地づくりをしていきたいと思っている。

（以下、配布資料「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み」に基づき、学校運営協議会の主な役割や、市内で実施している学校支援地域本部の取組事例等を説明した。）

- ・学校運営協議会の委員（資料中のイラストで描かれている5人）は、校長が推薦、選出をして、校長が掲げる学校経営の基本方針等に賛同している方であるが、まだ石狩八幡小学校の学校長は決まっていない。
- ・事務局から提案をさせていただきたいのは、来年4月の開校を見据えて、現在の関係校の各校長の意向を踏まえて、今、各校の学校運営に協力していただいている方をそれぞれ選んでいただき、「学校運営協議会・設立準備会」として、人数的にももう少し絞った構成メンバーで、石狩八幡小学校のコミュニティ・スクールの構想づくりをさせていただきたいということである。そして、で

できれば次回の会議を予定している7月下旬までに第1回の設立準備会を開催し、その内容については随時、この開校準備委員会で報告させていただきたい。

[質疑応答]

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について」

(A委員)

コミュニティ・スクールの導入によって、これまでの学校関係者評価委員会は無くなり、学校運営協議会に包含されるという理解でよろしいか。

(→ 事務局「はい。そういう理解でよろしいです。」)

(戎屋委員長)

事務局より提案のあった「設立準備会」を設けることについて、了承することよろしいか。

(→ 各委員より了承された。)

「開校までのスケジュールについて」

(B委員)

スクールバスの運行計画について、次回（7月）の会議で事務局案、9月の会議で最終案が示されることになっているが、昨年11月の通学先意向調査（アンケート）の後も、石狩八幡小か、厚田学園か、まだ通学先を迷っていらっしゃる方がいると聞いている。市教委では、いつまで通学先を決めるのを待っていただけるのか。学校が終わった後、これまでどおり放課後児童クラブ（虹が原会館：レインボークラブ）に、スクールバスで学校から真っ直ぐ運行してくれるのかどうかで、通学先を決めたいという方がいることと、聚富小中学校が閉校しても、レインボークラブを残してほしいという要望があることを知っていただきたい。

(安崎総務企画課長)

市教委としては、2回目の最終の意向調査を今年11月頃に行う予定としていることも含め、年内に決めていただきたいと考えており、そのためにもスクールバスの運行計画をできるだけ早めにお示しできるようにしたいと考えている。

(→ B委員、了承)

(A委員)

八幡小の校舎の改修費用について、7月の市議会で補正予算として提案、計上できるよう進めているということだが、要望書の内容について全部予算措置される見込みなのかどうか、大まかなのでいいので教えていただきたい。

(安崎総務企画課長)

今後、市議会の開会までに財政担当のヒアリングを受けて、市としての最終判断を行うことになるが、場合によっては優先順位をつけなければならないようなケースも想定している。その場合、例えば学校が避難所に指定されていることを踏まえ、トイレ改修は優先度が高くなると考え

ており、それ以外の改修項目で万一、今回措置されなかったとしても引き続き予算要求し、順次改修していく考えである。

(→ A委員、了承)

(C委員)

この開校準備委員会の最終回(3月)までに、改修後の校舎内を見学する機会を設けていただきたい。

(→ 事務局、了承)

## ● 校章デザイン(最終版)について

事務局(松永総務企画課主幹)より、資料に基づき説明した。

・前回(2/19)の会議で、132作品の中から、東京都在住の桑波田信行(くわはたのぶゆき)さんの作品を選出していただいた。翌日、ご本人に連絡し、開校準備委員会の投票で最上位に選ばれたことの報告と、著作権等への抵触の危惧や、第三者から類似・模倣といった指摘を受けることはないかなどについて伝えたところ、本人からは選考されたことの謝意と、「デザインは私本人のオリジナルです」という返事、申し出があった。

その後、事務局においてインターネット等で類似のデザインがあるかどうかについて再調査したほか、校章の基本デザインとして決定したことについて、市のホームページへの公表や、北海道新聞(石狩地方版)への記事掲載のほか、今回、全国から募集する取組の一つとして、デザイン募集の記事掲載をした全国誌「公募ガイド4月号」においても、校章デザイン決定の告知をした。

その結果、今日まで、当初危惧していた、著作権関連に関わる第三者からの申し出や苦情等は寄せられていないことを報告する。

・本日の資料には、カラー版と白黒版の2種類を、最終版として掲載している。最終版と申しますのは、カモメの羽根の形状について、よりカモメに近いデザインになるように、ご本人にお願いし、若干の修正を加えたものである。今後、例えば印刷物など、校章デザインを掲載する機会や場面が出てくると思われるが、全てカラーで対応できることとは限らないことについてご理解をいただくべく、今回白黒版もお示ししたところであるので、ご了解をいただきたい。

(→ 各委員より了承された。)

## ● 次回(第11回会議)の日程について

戒屋委員長より、「7月23日(火) 18時30分～」の提案があり、了承決定した。

閉 会

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和元年7月23日

石狩八幡小学校開校準備委員会

委員長 戎屋 健一